

# My GEO STORY

ヨガを通して、浅間山のエネルギーを体感！  
AJYUさん(ヨガインストラクター)

横浜から嬬恋へと拠点を移し、ヨガインストラクターとして働きながら浅間北麓の自然豊かな暮らしを楽しんでいるAJYU(アジュ)さん。5年ほど前から、北軽井沢の知人の山荘に遊びに来ていたのをきっかけに、都会での忙しい毎日をいったんリセットしてみようと決めました。北軽井沢や軽井沢でクラスを受け持ち、月に一度は横浜での里帰りレッスンへ。「思い描いたほどの“スローライフ”ではないですが(笑)、それでもこちらに流れる時間はゆったりしていると感じます。畑を借りて自分で食べるものを作ってみたり、村の人たちも皆さんおおらかで親切で。心配していた冬の生活も私にはあっていて、一年を通して暮らせるなど実感しました」。

2016年には、浅間山北麓ジオパークからの依頼を受け、六里ヶ原と鬼押出し園にて「ジオヨガ教室」を開催。多くの参加者が集まる人気イベントとなりました。「大地のエネルギーを直接感じることで、自然と呼吸も深くなり、より心身の解放感を味わえます。これからも、ジオヨガや日々のレッスンを通して、浅間北麓を訪れてもらうきっかけをつくり、この場所の気持ち良さを伝えていきたいですね」。



AJYUさんの愛犬、バーニーズマウンテンドッグのシャンティも、山暮らしが大のお気に入り！

# ジオジオ豆知識

## 第1回 火山灰の色

火山灰は、白っぽいものから黒っぽいものまで幅がありますが、広義には灰色をしていると言えます。しかし火山灰が積もってできた地層を見ると、その多くは赤褐色や黄土色をしています。同じ火山灰なのに、どうして色が違うのでしょうか？それは火山灰に含まれる金属の仕業です。火山灰の中には鉄やマグネシウムなどの金属が含まれています。これらははじめ黒っぽい色をしています。ところが時間が経って風化が進むと、金属が空気中の酸素と結びつくなどの変化が起こります。火山灰でできた地層が赤褐色や黄土色に見えるのは、風化の過程で金属の黒い色に変質し、赤く錆びた鉄の色が目立つようになるからです。

解説：古川広樹  
(鹿沢インフォメーションセンター)



火山灰



火山灰の地層



# あさまびと

2017夏号

Asama - bito

Vol.02



## 浅間山直下、奇岩の台地

噴煙を上げる浅間山はここに暮らす人々のランドマーク！人々は煙の流れによって天候を読み、雪形の現れ方で農作業の目安にしてきました。耕す大地はくり返す浅間山の噴火によってもたらされ、豊富な湧水は今も高原生活を潤しています。

夏、浅間山が織りなす景観を楽しむ格好の季節です。このエリアで自然を楽しむことは浅間山の成り立ちに触れることでもあるのです。浅間山はこの地域にだけ深くかかわる山ではなく、関東エリアを中心に土壌や風土にも影響を与えてきました。

写真の浅間北麓直下の荒涼とした台地は、火山の巨大なパワーを感じさせ見る者を圧倒する場所です。ここはジオパークそのものの台地なのです。この火山の活動と人々の暮らしを伝えていく取り組みが浅間山北麓ジオパークの活動として始まりました。

## 浅間山北麓ジオパーク フォトコンテスト



昨年度 会長賞作品「レタスの絨毯」

今年も、フォトコンテスト  
作品募集中です、ぜひご応募を！

## 行ってみよう！



7/29(土) : つまごい祭り  
(嬬恋村)

会場では芸能人コンサート、地元轟太鼓、つまごい手踊りなどが行われます。夜には花火が打ち上がります



8/14(月) : 北軽井沢高原祭り  
(長野原町)

会場では納涼踊りやフラダンス、浅間鬼押し太鼓などが行われます。夜には花火が打ち上がります



- 8/5 浅間山溶岩樹型見学会
- 8/5-11 鹿沢園地サマーウィーク  
企画展「浅間山とジオパーク」
- 8/11 山の日イベント「四阿山登山」(ジオガイド同行)
- 9/10 全国風穴サミットin信州小諸
- 10/22 モニタージオツアー「ジオサイト：吾妻峡」
- 11/3 嬬恋村文化祭・長野原町文化祭

## ジオサイト・拠点からのお知らせ

### 浅間牧場

「丘を越えて」の歌碑の先の展望台付近において常時、放牧しております。ぜひ、お楽しみください。



## ガイドの受付しています

浅間山北麓ジオパークガイドの会の認定ガイドによる案内(有料)の受付をしております。ご希望の方は、右記、推進協議会事務局までお申し込みください。  
【料金表】  
ジオガイド 半日¥5,000~8,000  
1日¥10,000~16,000

## 編集後記

ジオパーク通信は「あさまびと」というタイトルで発行します。次号は11月に発行予定です。

## 発行元：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council

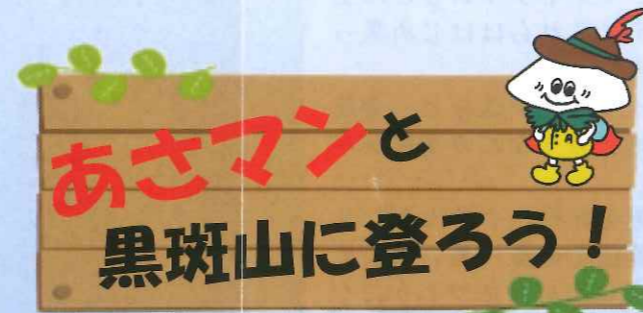


〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原710-136  
TEL/FAX: 0279-82-5566 URL: www.mtasama.com  
E-mail: geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp  
Facebook: www.facebook.com/asamageopark  
制作担当：広報・観光委員会

# 突如目の前に現れる浅間山！ 大迫力の絶景を見に行こう！



黒斑山山頂から前掛山を望む



浅間山は、黒斑山、仏岩、前掛山、小浅間でできており、黒斑山に登ると釜山を間近で見ることが出来ます。釜山は、天明3年(1783)の噴火で出来た火口で今も噴煙をあげています。黒斑山はかつて標高2800mぐらいありましたが、約2万5千年前に大きく山が崩れ、数十億トン以上の土砂を押し出しました。北に向かった応桑泥流は、流山をつくり、吾妻川、利根川を流れ下り、前橋大地をつくりました。群馬県庁には、そのときの土砂で作られた10m以上の崖があります。一方、南に向かった流れは小諸や佐久を流れ、千曲川に入り、上田城の尼が淵の崖をつくっています。黒斑山は浅間山で一番古い山です。山体崩壊をした後に馬蹄形のカルデラになりました。その様子が黒斑山に登るとよくわかります。黒斑期(約2.5万年前)のあと仏岩期(約1.3万年前)になり、万座・鹿沢口の駅の崖をつくります。現在の前掛山期になると孺恋中学校のある大笹の大地をつくり、天明3年の噴火では、鎌原や長野原を含め大きな被害を起こしています。今の浅間山の形は天明3年の噴火によりできたもので、234年経っています。

黒斑山は、  
浅間山の成り立ちが  
わかるどころです



さらに奥の蛇骨岳へ行くと、北麓の孺恋と長野原に広がる広大な畑がよく見えます



黒斑山山頂



- ### 登山時の注意事項
- 決められた登山道を歩きましょう
  - 登山届は必ず出しましょう
  - 歩きやすい靴と服装で、雨具も忘れずに
  - ゴミは持ち帰りましょう
  - 動植物の採取・持込はしないようにしましょう
  - 天気の急変に注意し、早めの行動を心がけましょう
  - 夏の登山は熱中症に注意し、水分をこまめに取りましょう
  - ペット同伴での登山はしないようにしましょう



## ① 高峰高原ビジターセンター

表コースは、佐久平の町並み、ハケ岳、富士山などが見える、楽しみながら歩けるコースです。入山届を出して、さあ！出発！



笹が生える唐松林を登ります。



## ② ビューポイント

後ろを振り向くと高峰高原ビジターセンター近くにあるスキー場と水ノ塔山、東麓ノ登山、西麓ノ登山が見え、その奥に北アルプスが望めます



車坂峠を過ぎて溶岩に付けられた白ペンキに沿って登っていくと展望が開けます



さらに、北に進むと黒斑山の西面が見えます。稜線を進むと再び樹林に入ります



## ③ 休憩ポイント

景色の良い広いガレ地。写真を撮りながら、ひとやすみ



槍ヶ鞘 火山避難用シェルター

## ⑤ 分岐ポイント

槍ヶ鞘から稜線を北側にめぐりトーマスの頭へ。中コースとの合流地点。帰りはこのコースを歩きます



## ④ 槍ヶ鞘(やりがさや)

槍ヶ鞘(やりがさや)は、黒斑山の外輪山。正面にどっしり構えた浅間山(前掛山)が見えます



## ⑥ トーマスの頭

黒斑山の見事な外輪山が見えます。目を南に向けてハケ岳や富士山も見えます。蛇骨岳、仙人岳、湯の平なども一望できます



トーマスの頭から北へ登ります。登山道は、林に入ったり出たりしながら黒斑山に向います。東側は大きく崩れ、絶壁なので歩行に注意！



# アクセスMAP